

小学校  
6年

# 「お悩み解決フリップ」で自分の悩みを解決しよう！

貝塚市立中央小学校

教科	国語	単元名	時計の時間と心の時間
----	----	-----	------------

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

F-STEP3, G-STEP3  
D-STEP2

該当番号の詳細内容は  
「大阪府情報活用能力  
ステップシート」から確認できます。



## 単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・事実と感想、意見などの関係を、叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。
- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づく。

## 単元における学習の展開 (全7時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第1次 (1時間)	・単元の学習の見通しをもつ。(☆) 自分の悩みを解決できる主張や事例、資料をもとに、自分の意見をまとめる。その中で友だちと意見交換しながらフリップをつくるための見通しをもつ。
第2次 (4時間)	・「笑うから楽しい」の構成を考える。 ・「笑うから楽しい」のフリップづくりをする。(☆) (1枚目には要旨、2枚目には要旨にかかわる詳しい事例) ・「時計の時間と心の時間」の要旨を把握し、1枚目のフリップにまとめる。 ・「時計の時間と心の時間」で自分の時間の使い方に役立つと思ったところを選び、2枚目のフリップにまとめる。
第3次 (2時間)	・悩み解決につながる情報を並行読書の教材から見つけ、フリップにまとめるために交流する。(本時) (☆) ・自分の悩みを解決するための情報を見つけ、お悩み解決フリップに書きまとめる。

## 本時のねらい

- ・自分や友だちの悩みを解決するためのフリップ作成に向けて必要な情報を集め、読んだ図書の事例をもとに友だちと話し合うことができる。

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (15分)	<b>1. めあての確認</b> めあて自分の悩みを解決するための情報を見つけ、「お悩み解決フリップ」にまとめよう。 <b>2. 話し合いの仕方をモデル動画を見て、確認する。</b> <b>3. お悩み相談会で友だちに意見を求めたいことについて考える。</b> (迷っているところ・自分の主張と事例は適切かどうか等)	・教員がモデルとなる話し合い活動の例を、良い例と良くない例の2パターン示す。  悩みを解決するために読む資料は、学校図書館や同じ中学校区の学校図書館、市立図書館から本を取り寄せて教室でも読めるようにしておく。
展開 (25分)	<b>4. フリップ作成に向けて適切な情報を選ぶために、同じような悩みをもつ人の中から話し合う相手を選び、意見交流する。</b> ・2人ペアになる。(ペアを同じカテゴリから探す) ・空いている席に座って交流をし、終わればまた相手を探す。	・カテゴリ別に分けた中でもさらに悩みが似ている者同士で、話し合いを深める。
まとめ (5分)	<b>5. 本時の学習のふりかえりを行う。</b>	

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・悩み解決フリップをつくるという言語活動の設定で、自然に主体的に本を読み、資料を探そうとする様子が見られた。
- ・並行読書で読む本は、単元の学習が始まる前から用意しておき、児童がいつでも読めるように準備しておいた。
- ・情報を見つけるための交流の時間に話が止まっているペアがいた場合は、教員がコーディネーター役として話し合いの中に入り、話が進むように支援した。



悩みを解決するための資料を並行読書教材の中から見つけ、話し相手に紹介しているところ